

平成27年度教育研究活動報告書

氏名	平山直樹	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士(文学)(広島大学)	職位	准教授
専門分野	英語の歴史研究		
I 教育活動			
本年度担当科目			
	授業科目		
学部	TOEIC I TOEIC II 応用英語 I 応用英語 II 上級英語 I 上級英語 II		
大学院	英語学特論		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績(5件まで)			
〈著書〉〈展覧会〉〈論文〉〈翻訳〉〈学会発表〉〈学術表彰〉〈その他〉			
(1) 〈論文〉「『パストン家書簡集』における <i>please</i> 」、谷明信・尾崎久男編『15世紀の英語—文法からテキストへ—』、2013年3月29日。			
(2) 〈論文〉「『パストン家書簡集』におけるME THINKS」、尾道市立大学日本文学論叢第8号、pp. (1)-(18)、2012年12月。			
(3) 〈論文〉「名詞節を導く <i>that</i> の省略について—『パストン家書簡集』におけるTHINK—『英語教育への新たな挑戦—英語教育内容学の視点から』、pp. 205-17、英宝社、2010年7月。			
(4) 〈論文〉“Epistemic Adverbs in the Paston Letters,” <i>English Philology and Stylistics: A Festschrift for Professor Toshiro Tanaka</i> , Edited by Osamu Imahayashi and Hiroji Fukumoto, pp. 59-71, 溪水社, 2004年12月。			
(5) 〈論文〉“The Language of Requests in the Paston Letters: The Grammaticalization and Subjectification of X PRAY Y,” 広島大学英文学会『英語英文学研究』第46巻、pp. 25-43, 2002年3月。			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
〈著書〉〈展覧会〉〈論文〉〈翻訳〉〈学会発表〉〈学術表彰〉〈その他〉			
(1) 〈論文〉「『パストン家書簡集』における <i>since</i> 」、『中尾佳行先生御退職記念 言葉で広がる知性と感性の世界—英語・英語教育の新地平を探る—』、pp. 140-153、中尾佳行先生御退職記念事業解、2016年2月。			
(2) 〈学会発表〉「パストン家書簡集の接続詞 <i>that</i> 」、日本中世英語英文学会第31回西支部例会 於 福岡女子大学、2015年6月13日。			
(3) 〈書評論文〉“Juan M. Hernandez-Campoy and J. Camilo Conde-Silvestere, eds. <i>The Handbook of Historical Sociolinguistics</i> . Chichester: Willey-Blackwell, 2012. xxx+674 pp.,” 広島大学英文学会『英語英文学研究』第58巻、pp. 43-55、2014年3月。			
(4) 〈論文〉「15世紀イギリスの手紙を読む—パストン家の手紙に着目して—」、尾道市立大学芸術文化学部日本文学科『尾道文学談話会会報』第4号、pp. (17)-(41)、2013年12月。			
(5) 〈学会発表〉「『パストン家書簡集』における <i>since</i> 」、日本英文学会中国四国支部第66回大会 於 山口大学、2013年10月19日。			
現在の研究テーマ(3つまで)			
(1) 『パストン家書簡集』における英語の歴史的研究			
学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績)			
所属学会・所属団体 役職等			
日本英文学会、日本英文学会中国四国支部(編集補助委員)、日本中世英語英文学会(準備委員)、日本中世英語英文学会西支部(準備委員)、近代英語協会(2015年10月より事務局長)、英語史研究会、英語コーパス学会、山口大学英語教育研究会(編集委員)、尾道市立大学日本文学会			
IV 社会活動			
1. 学外活動(本年度1年間の活動状況)			
(1) 尾道市立大学教養講座の第4回を、「小泉八雲の英語が語る松江」という題目で担当した。			